2022年11月30日発行　第27号

公益財団法人 メイト公徳体財団便り

理事長：赤岩達重

メイト公徳体財団理事長 挨拶

平素から当財団の運営に対して一方ならぬご尽力を頂き、厚く御礼申し上げます。

2022年においても新型コロナウイルスは相変わらず感染拡大と収束を繰り返しており、国内では第8波に突入したとの報道がなされています。

一方で、今年は昨年までと比べて各種行動制限が大幅に緩和され、コロナ以降中止もしくは延期されていた催事が開催されるなど嬉しい変化もありました。

スポーツの世界においても10月には3年ぶりとなる国体が栃木で開催され、11月には我々の地元でも岡山マラソン2022が開催されました。

今回の岡山マラソンには実に1万人超の方が参加されたということで、私もテレビ中継で大勢の方々が一斉にスタートを切る姿を拝見しておりました。ようやく社会がコロナ前の状態に戻りつつあることを実感し、少しだけ安堵の気持ちを覚えた次第です。

マラソンブームは近年衰えるところを知りませんが、ある調査によると、日本国内で毎週欠かさずランニングをされる方の数は今回のコロナ禍で過去最高の約600万人まで増えたそうです。

これは他のスポーツと比べても圧倒的な競技人口となっており、ランニングの人気の高さが伺えます。

ご存じの通り、日常的な運動習慣は身体面、精神面の健康維持に大変有用であり、時間や場所を問わず一人でも気楽に始められるランニングは大人の運動習慣としてうってつけであるということが人気の一因と言えるでしょう。

ところで、成人後の運動習慣獲得には、子供のころのスポーツ体験が大きく寄与しているという研究結果があります。子供のころにスポーツに親しんだ人ほど、成人してからも体を動かすことに抵抗がなく、運動を通して心身ともに健康な人生を送ることができるということです。

そういった意味では、子供のころのスポーツ体験は、まさに一生の財産となるものなのです。

スポーツ少年団はそのような子供のスポーツ体験の場として、最も重要な位置を占めるものの一つであり、ひいては子供たちのその後の人生にも関わってくる、大変意義深い活動であります。

私どもはそのようなスポーツ少年団の活動のお手伝いができるよう、これからも尽力してまいりますので、皆様方におかれましては今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

メイト公徳体財団が目指す人づくり

知 育

自らの可能性を信じ、
知識・技術の練磨に努め
自分を高める努力を
重ねる。

徳 育

個性を尊重して、
社会的規範、感動する心、
思いやりや感謝の心など
豊かな人間性を身につける。

体 育

スポーツを通じて他者と協調し
心身の健全な育成につとめ
共に生きる。

5つの誓い

1. さわやかな挨拶をします
2. 思いやりと感謝の心を持ちます
3. 率先して、目標に向かって常に努力します
4. 自らの可能性を信じ、知識・技能の習得に努めます
5. スポーツを通じて、心身を鍛錬し自分自身を確立します

活動を振り返って
（2021年度助成団体　感想文のご紹介）

（ソフトボール 指導者）

昨年から続くコロナリスクの中、スポーツ少年団としての活動が制限される事も多い状況ではありますが、そんな中でも仲間と一緒に体を動かし、直接コミュニケーションをとれる事の素晴らしさは、子供たちも、指導者としても痛感しているところです。

活動時間が制限される中でも、各家庭での自主的なトレーニング、全体練習メニューの見直しによる効率化をはかっています。

昨年度から見ても、子供たち一人ひとりの技術、メンタルは大きく成長できており、指導者、団員、育成母集団が連携し活動してきた努力の賜物ではないかと思います。

（サッカー 指導者）

私が心がけていることは、子供たちが中心となって考えて行動するということです。練習の準備や試合会場での準備を、6年生が中心となってみんなで工夫協力して行うこととしています。

これにより、個々の役割をそれぞれが自然に感じて行動でき、上級生は下級生を指導できるようになり、周囲の人をリスペクトする気持ちが芽生え、チームとしてまとまると考えています。

毎回行っている準備運動を兼ねた基礎練習は、準備から実施まで約1時間、指導者不在でも行えるようになりました。

練習の中でも下級生ができないプレーを上級生が教えてあげるようになり、下級生も上級生の声に耳を傾けるようになりました。

少しずつですが、周囲の人をリスペクトする気持ちが浸透してきていると思います。

（サッカー 児童）

僕は6年生で最後のスポ少活動で、キャプテンをしています。キャプテンとして、みんなをまとめて周りから「いいチームだね」と言われることを目標にしています。

そのためには、何事も僕が率先して行動して模範になることだと思います。

サッカーのルールを勉強し、プレーも勉強して下級生に教えるようにしています。

そして挨拶と感謝の気持ちを伝えることが大切だと思うので、「おはよう」と「ありがとう」を笑顔で言うようにしています。

もう一つの目標として、中学高校とサッカーを続けていって、いつか他の人が目標と思ってくれるような選手になりたいと思っています。

（ミニバスケットボール 児童）

僕の夢は、バスケット選手になることです。なぜなら、世界で活躍している田中選手のハンドリングや観客を魅了するパスなどを見て、カッコイイと思ったからです。僕も将来、田中選手のように世界で活躍できる選手になりたいです。

夢を叶えるために、これから僕ができる事は、日々走ったり、家でハンドリングしたり、練習の時から強い選手を意識したりすること、そして大きな目標を持つことです。

その目標とは、日本代表になることです。日本代表の中で、ポイントガードのポジションになってみんなに指示をしたり、チームを盛り上げたりと、チームに欠かせない存在になりたいです。

そして、いつか田中選手と戦える日が来たら、田中選手が驚くようなパス、シュート、田中選手が嫌がるようなディフェンスをして、田中選手に自分のすごい所を見せつけたいです！

（バレーボール 児童）

私は一年生になってからバレーを始めました。

私の、お姉ちゃん二人も一緒にバレーをしています。

お姉ちゃんみたいにうまくなりたいので、練習や試合を頑張っています。

私は、試合でサーブを入れたいのでサーブ練習を頑張ります。レシーブもうまくなりたいです。アタックもうまくなりたいです。トスも頑張りたいです。

元気で明るいよいチームになりたいです。いっしょ

（ソフトボール 児童）

僕の目標は、ホームランを打てる選手になることです。

そのためには体力をつけることが大切なので、僕は曜日を決めて走ろうと思います。走ることで下半身に力がついてスイングが安定します。

そして素振りも頑張りたいです。素振りをするときは、ただバットを振るのではなくてピッチャーが16m先に立って投げてくるイメージを意識して一球一球一振り一振りを大切にして頑張り、お父さんに庭でボールを投げてもらってトスバッティングの練習もします。

その結果を試合で今まで教えてくれたみんなに見てもらって恩返しをしたいです。

最終的な目標は高校野球で甲子園に出て活躍してプロ選手になって、みんなに勇気を与えられる選手になることです。

（剣道 児童）

今年成長できたことは、剣道を通して思いやりを持てたことです。困っている人を助けたり、気遣いができたと思います。

特に頑張ったことは、剣道と勉強の両立です。なかなか両立はできず、大変でした。

将来の夢は保育士になることです。子供が好きで小さい時お世話になった先生のように優しく笑顔いっぱいの先生になりたいと思っています。その分辛いこともあると思うけど一つずつ乗り越えて頑張ります。今できることを精一杯して夢に近づけるよう頑張ります。

前年（2021年度）　助成団体の活動報告

《2021年度の助成団体（全14団体）》

- ○高野スポーツ少年団
- ○Frou Frou Kids 吉備中央
- ○陵南ミニバスケットボールスポーツクラブ男子
- ○弥生スポーツ少年団
- ○竜之口スポーツ少年団
- ○旭スポーツ少年団女子サッカー部
- ○佐伯バレーボールスポーツ少年団
- ○秀実スポーツ少年団
- ○久米剣道教室
- ○日生・三石バレーボールスポーツ少年団
- ○シャイニィ瀬戸内VBC女子
- ○山陽チャレンジャーズスポーツ少年団
- ○御北バレーボールスポーツ少年団

《練習・試合の状況(14団体平均)》

- ○練習日数：2.6日/週
- ○参加率：95%
- ○2021年度試合数：36試合

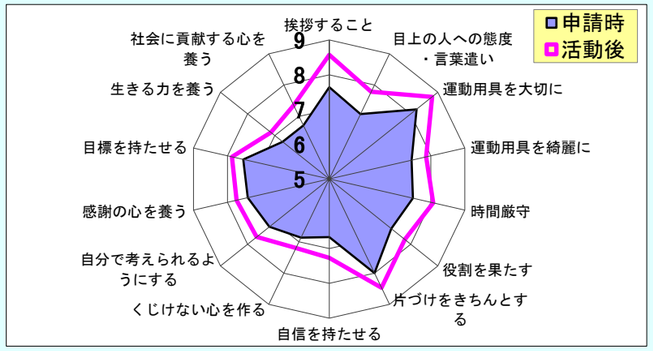
《練習・試合以外の活動》

- ○駅伝参加
- ○清掃ボランティア
- ○運動大会
- ○親子試合
- ○ハロウィン　等々

《助成金の主な用途》

- ○ユニフォーム
- ○ボール
- ○ラインテープ
- ○スコアブック
- ○テーブル
- ○ストップウォッチ
- ○空気入れ
- ○体育館使用料
- ○大会参加費
- ○バッグ
- ○フェイスシールド
- ○手指消毒剤
- ○テント
- ○ベンチ
- ○応急処置用品
- ○ワッペン
- ○遠征交通費

《2021年度活動による児童の成長》



2021年度助成団体　Frou Frou kids 吉備中央　様

前年（2021年度）の主な活動報告

2021年6月4日	理事会開催
2021年6月18日	評議員会開催
2022年2月21日	理事会開催
2022年3月1日	評議員会開催

※感染症対策のため、理事会・評議員会は書面決議にて実施いたしました。

令和3年度　スポーツ少年団活動助成

助成団体　14団体　　助成金額　計　1,667,790円

今年（2022年度）の事業

1. スポーツ少年団への助成事業

助成対象	助成金額
15団体	1団体あたり15万円以内

新型コロナウイルス感染症との共存、
物価の上昇など、目まぐるしく変化を続ける
社会情勢に対応するため、
事業内容を適宜見直していく予定です。

今年（2022年度）　助成団体のご紹介

今年度の助成団体(全15団体)を以下にご紹介致します。

＜ご紹介内容＞

団　体　名		
児童数	年間試合数(練習試合数・大会での試合数)	
練習曜日	1回の練習時間	練習の参加率
最近の主な活躍		

ソフトボール

岡山市		
浦安スポーツ少年団ソフトボール部		
25名	35 試合（15試合・20試合）	
土・日	4～5 時間	100 %
岡山市春季錬成大会　優勝　他		

和気町		
佐伯ソフトボールスポーツ少年団		
3名	40 試合（0試合・40試合）	
土・日	3 時間	100 %
地区大会優勝　他		

サッカー

吉備中央町		
吉備中央フットボールクラブ		
42名	17 試合(8試合・9試合)	
火・水・土	2 時間	80 %
真庭地区公式リーグ7位		

備前市		
ソレイユ吉永サッカークラブ		
15名	65 試合(20試合・45試合)	
水・土	2 時間	80 %
令和3年度東備リーグ　8位　他		

ミニバスケットボール

瀬戸内市		
邑久ミニバスケットボールスポーツ少年団		
42名	45 試合（25試合・20試合）	
水・金・土	2 時間	90 %
闘竜灘チャレンジカップ　優勝　他		

倉敷市		
J's Eggスポーツ少年団		
40名	18 試合（10試合・8試合）	
水・土・日	3 時間	90 %
倉敷市ベスト8		

ソフトボール・サッカー

井原市		
荏原スポーツ少年団		
15名	10 試合（5試合・5試合）	
土・日	3.5 時間	90 %
井原市大会　準優勝　他		

津山市		
成名スポーツ少年団		
11名	22 試合（10試合・12試合）	
水・土・日	3.5 時間	100 %
市ソフト交歓大会　ブロック優勝　他		

津山市		
八子津山ミニバスケットボールクラブ		
45名	100 試合（70試合・30試合）	
火・水・金・土	2 時間	80 %
美作地区大会優勝		

ソフトボール・サッカー・ミニバスケットボール

津山市		
誠道スポーツ少年団　ソフトボール部		
6名	12 試合（4試合・8試合）	
土・日	3 時間	95 %
津山市久米支部ソフトボール大会　優勝　他		

津山市		
一宮スポーツ少年団		
22名	12 試合（0試合・12試合）	
土・日	4 時間	100 %
北陵学区杯優勝　他		

総社市		
総社ミニバスケットボール教室男子		
16名	100 試合（94試合・6試合）	
火・土・日	3時間	95 %
県ベスト8、県選抜選手輩出		

軟式野球

岡山市		
一宮ウイングス軟式野球スポーツ少年団		
34名	130 試合(70試合・60試合)	
土・日・祝	4.5 時間	100 %
全軟学童野球県選手権大会ベスト8　他		

サッカー・ミニバスケットボール

美咲町		
柵原スポーツ少年団		
64名	36 試合（13試合・23試合）	
月・水・木・金	2 時間	85 %
U12、U10佐良山カップ　各優勝　他		

レスリング

浅口市		
高農クラブ		
4名	0 試合(大会中止等のため)	
月・水・金・土	2 時間	100 %
全国選手権大会(令和元年度)　3位　他		

― 公益財団法人　メイト公徳体財団　―

住所　／　〒709－0514　岡山県和気郡和気町佐伯526－3　(株)メイト内

TEL　／　0869－88－0243　**FAX**　／　0869－88－0248

担当　／　後谷・兼田

ホームページ　／　https://www.mate.or.jp/

メイト公徳体財団への
お問い合わせは
こちらまで
お願いいたします。